

「あそびのないブレーキは危険だ。」と言われていました。ここで言う「あそび」とは「余裕」のことです。ブレーキをふんですぐに車が止まってしまうと、中に乗っている人が前後に激しくゆさぶられてケガをします。また、急に止まると、後続車に追突ついつつされてしまいます。

「遊び」がないと「危険」なのは、なにも車に限ったことではありません。人間も同じです。余裕がないと、人は自分のことだけで手一杯になってしまい、ほかの人のことを思いやることができなくなり、相手が「そういつとに限って、イレイセイな判断力を失ったり、相手に無理な要求をしたり、相手の心を①傷つけてしまいます。これは非常に「②危険」なことです。

へア、余裕を持つためには、何が必要でしょうか。まずは時間を上手に使うこと。時間に追い立てられていたのでは「余裕」は生まれません。「余裕」は周囲を見渡す目を生み、それは「気づき」につながります。次に、自分がやるべきことをとことんやること。②タシかな知識や技術を身に着けたとき、初めて「楽しむ」ことができます。楽しみがあつてこそ「遊び」です。

一昔前、小学生ぐらいのまでの子供にとって、遊びは勉強でした。国語や算数よりも大切だったといったら、驚くおどろかもしれません。へイ、子供たちは、友だちたちとの遊びをおして、③生きていくうえで必要なことを、無意識のうちに身に着けてきたのですから、遊びも大切なのです。

子供たちの遊びに、ケガやケンカはつきものです。だけど、今の親たちは、ケガやケンカをしそうな遊びを③キンシします。それどころか、遊ぶことよりも、算数の勉強をするほうが④立派だと思っています。

遊びを知らないで育った大人は、コミュニケーションの取り方の基本がわからなかったり、ルールにしたがって物事を進めることが⑤苦手だったり、危機回避かいはいが下手だったりすることが多いです。子供の「安全」や「将来」を考えた結果、子供を「危険」にさらすことになるのは、何とも⑥皮肉なことではないでしょうか。

問一 線部 1・2・3をそれぞれ漢字になおしなさい。

問二 線部 4・5・6の漢字の読みをそれぞれ答えなさい。

問三 へア、へイ、へイ、へイに入るふさわしいことばを、次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア だから イ しかし ウ また エ では オ つまり

問四 線部①を正しい言いかたに直しなさい。

問五 線部②の対義語(反対語)を文中からぬき出しなさい。

問六 線部③について、

(1) 「生きていくうえで必要なこと」を文中のことばを使って三つ答えなさい。

(2) 今まであなたが遊びの中で身に着けてきた「生きていくうえで必要なこと」を、何の遊びをしていた時、どのような経験をして、何を学んだかがわかるように、百字以内で説明しなさい。

次の計算をしなさい。

- (1) $32+8\times 2$ (2) $4\times(56-16\div 8)$ (3) $5-2.72$ (4) $2.6\times 0.4\div 1.3$ (5) $\frac{1}{2}-\frac{1}{6}+\frac{1}{4}$ (6) $1\frac{1}{15}\div\frac{12}{5}$

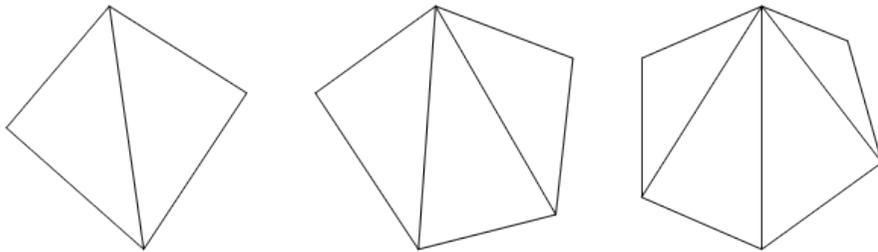
次の問いに答えなさい。

- (1) 時速 46km の自動車 90 分間進んだとき、進んだ道のりは何 km ですか。
(2) たてと横の長さの比が $3:5$ である長方形の周の長さが 19.2cm のとき、横の長さは何 cm ですか。

三角形の3つの角の大きさの和は 180° になります。このことを用いて、四角形、五角形、六角形の角の大きさの和を求める方法を、たけしさんは次のように考えました。

[たけしさんの考え方]

四角形、五角形、六角形の1つの頂点から対角線を引くと、それぞれ2個、3個、4個の三角形に分けることができます。



- (1) たけしさんの考え方を使って、十角形の10個の角の大きさの和を求める式と答えを書きなさい。
(2) ようこさんは、四角形、五角形、六角形を図のように分けて、角の大きさの和を考えました。ようこさんの考え方を使って、十角形の10個の角の大きさの和を求める式と答えを書きなさい。

